

あいちの印刷

2

2022.2
No.603



北里研究所本館・医学館（博物館 明治村）

もくじ

- 巻頭言「生きていることに感謝する」 3
- 愛印工組
印刷と関連業界新年互礼会 4
- 愛知労働局からのお知らせ 6
- 全印工連
印刷業経営動向実態調査 8
- 経済産業省／中小企業庁
「はばたく中小企業・小規模事業者300社」選定 10
- 全印工連
CSR認定120社、新規ワンスター認定は5社 13
- 日印産連
新GP認定436事業所 13
- 中部経済産業局より緊急の案内
令和3年度補正予算「事業復活支援金」 14
- 全印工連：第15回MUDコンペ
経済産業大臣賞に杉山メディアサポートと
静岡文化芸術大学 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

OIO 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM

「減らす」がつくる、クオリティ

SUPERIA

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

RMGT 970が
あなたの **SDGs** を
アシスト **Assist**



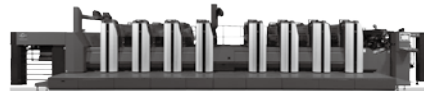
人に優しい



地球に優しい



経営に優しい



RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性が更に進化。ナイフとバックゲージの速度が向上し、クランプ上昇安全機能を搭載。AIとの連携(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

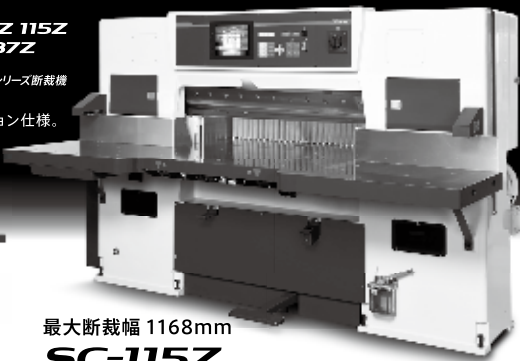
SC 100Z 115Z 137Z
SERIES SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

Safety Speedy Smart



CIP4 対応
(オプション)

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>

e-mail info@itotec.co.jp

本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495

[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「生きていることに感謝する」

副理事長 松岡 祐司

皆さんお元気でしょうか。昨年10月以降新型コロナウイルスの感染者数が激減し、印刷の受注も少しずつ回復してきました。しかし、年始からのオミクロン株の感染拡大で第6波となり、先行き不安な状況が続いています。

このようなコロナ禍で私は本当に大切なものに気付かされました。人は自分一人では生きていけません。空気、水、食料、また家族や職場の同僚たち、さらには仕事や社会など、自分を取り巻くあらゆるものに支えられて生きています。

そう考えれば、自然に感謝の心が出てくるはずで、コロナ禍で厳しい状況であったり、不幸や不健康であったりする場合は「感謝をなさい」と言われても、無理かもしれません。それでも生きていることに感謝することが大切だと思います。

感謝の心が生まれてくれば、自然と幸せが感じられるようになってきます。生かされていることに感謝し、幸せを感じる心によって、人生を豊かで潤いのあるものに変えていくことができるのです。不平不満やグチを言って生きるのではなく、今あることに素直に感謝する。その感謝の心を「ありがとう」という言葉や笑顔で周囲の人たちに伝える。そのことが、自分だけ

でなく、周りの人たちの心も和ませ、幸せな気持ちにしてくれます。全社員が自ら主体的に感謝の気持ちを表に出していけば、必ず運命が開けていき、自然と仕事もうまくいきます。

私共のアサプリグループは全社共に新型コロナウイルスの感染予防対策の徹底を継続し、全社員の健康と安全を最優先に守ります。そして全社一丸となってコロナショックの難局を乗り越え、企業の存続と全社員の雇用と幸せを守るために「生きていることに感謝する」ことを2022年度のスローガンとしました。

企業は不況を境に体質を強化し、次の飛躍に備えることで発展していきます。不況が厳しければ厳しいほど、明るくポジティブな態度で、全社員一丸となって創意工夫を重ね、努力を傾けて難局を乗り越えることが大切だと思います。

そのお役にたてるように愛知県印刷工業組合では組合員の皆さんに、ヒントとなる有益な補助金・助成金・給付金などの情報提供や各種セミナー、社員教育、メリットのある共済制度などをたくさん用意しています。是非とも積極的にご活用頂き、コロナ禍の難局を乗り越え生き残りましょう。生きていることに感謝すれば必ず道は拓けます。



お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。



- 専任者不要 「スマートに動く」スキルレスオペレーション
- 作業の効率化 「無駄のない」シンプル印刷プロセス
- 受注体制の拡充 「アイデアの具現化」高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624



共に印刷の未来を創る
つなぐラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>

愛印工組／印刷と関連業界新年互礼会



業界が発展するためのキーワード 全印工連のデジタルトランス フォーメーション(DX)

人数を制限し
開催された新年互礼会

愛知県印刷工業組合（愛印工組）の令和4年新春「印刷と関連業界 新年互礼会」が1月12日午後5時より、名古屋・栄の名古屋東急ホテル「ヴェルサイユの間」において開催された。新年互礼会は2年ぶりの開催になり、コロナウイルス感染防止対策を徹底し、参加者を例年の半数に減らし行なわれた。

席上、主催者を代表して挨拶に立った鳥原久資理事長は、「新SDGsという言葉を目にした」とした上で、新SDGsを紹介、また、来賓で挨拶に立った滝澤光正会長は、全印工連の目指すデジタルトランスフォーメーション（DX）事業の展開について解説を加えた。

■生産性向上と高付加価値を目指し

新年互礼会は、田中賢二副理事長が司会進行を努め、冒頭、主催者を代表し鳥原久資理事長が次のように述べた。

「新型コロナウイルス感染症が3年目になり、いろいろなイベントや行事が中止または先送りになって、景色が様変わりした。とにかくコロナの責任にしたいところであるが、印刷業界はその前から非常に厳しい状況にあって、先に来るものが早く訪れただけである。

先日、『新SDGs』という言葉を目にした。SDGsはご存じのごとく持続可能な開発目標で、2030年までに17の項目の達成を目指している。新SDGsは、2050年を見据えたもので、Sはサステナブルで今のSDGsと同じであるが、Dはデジタル、Gをグローバルに置き換えている。その上で、自分の会社の強みを「志（パーパス）」を軸に経営をなささいとしている。要は、Dはデジタルトランスフォーメーション、デジタルという道具を使って企業改革を行なう。Gはグローバルだから、世界的な視野と多様性をもって、次への舵を切りなさいということである。まさに我々の業界を指していると感じている。

そして今、盛んにいわれているのがこのパーパスという言

葉で、志と訳されている。若い人たち、そして消費者は、デジタル消費であったり、ESG（環境・社会・ガバナンス）への関心であったり、我々が歩んできた、いわゆる良いものを沢山造って、品質を上げるというカテゴリーから、少し距離を置いた考えになると思っている。その中でこの業界が発展するキーワードは、何のために我々の会社があるか、そしてどういう人たちが支援を必要としているのか、どんなサービスが



開催を感謝し挨拶する鳥原久資理事長



DX事業を語る滝澤光正全印工連会長

できるのか、これが我々の置かれた今の立場ではないかと思う」と、業界を取り巻く環境への対応を示した。

続いて、来賓祝辞に移り全日本印刷工業組合連合会（全印工連）の滝澤光正会長が次のように挨拶した。

「昨年は新型コロナウイルスの収束が見通せない中、全印工連でも予定をしていた全日本印刷文化典長野大会の中止、CSRサミットの延期、あるいは各種会議、セミナーのリモート運営など一昨年に引き続き、難しい組合運営を強いられた。秋以降はワクチン接種が進み、感染者が減少し、緊急事態宣言が解除されるなど、僅かながら明るい兆しが見えたが、その一方で原材料コストや物流費の上昇を理由として、印刷用紙をはじめとする印刷関連消費資材の価格改訂が相次いで発表されるなど、中小印刷業界のみならず産業界全体において今しばらくは厳しい環境への対応が求められる年となった。

このことに関連し昨年末の12月27日には、政府においてパートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージが取り纏められ、発表された。これは中小企業が賃上げの原資が確保できるよう生産性向上に取り組む中小企業を事業再構築補助金等により支援していくことに合わせて、取引事業者全体のパートナーシップによって、労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇分を適切に価格に転嫁できるよう、政府横断的な新たな取り組みを開始し、フォローアップ



乾杯の音頭を取った塚本久愛印工組顧問

していくことを通じて、転嫁対策に全力を掲げて取り組んでいくというものである。それに対し私たち事業者は今後印刷資材のみならず、人件費、輸送費など、全てのコストが上昇している局面において、お客様にしっかりと印刷の価値を理解していただき、適正に価格に反映していくことが何より重要である。全印工連としても先に各都道府県印刷工業組合を通じ、お客様向け発注に関するお願い文書の雛形を用意しているので、組合員の皆様には是非積極的に活用していただきたいと思う。

この様な状況の中、全印工連では、昨年生産性向上と高付加価値化を目指すデジタルトランスフォーメーション（DX）事業について、組合員同士の生産連携を図るためのDXプラットフォームシステム『DXプラット』の全国9地区におけるトライアルの実施を行なった。昨年、本格稼働に向けた制度設計の取り組み、また各メーカーデバイスとのインターフェースの構築、システム改修など着実な歩みを進めているところである。

滝澤会長は、全印工連の活動状況を報告後、デジタルトランスフォーメーションなどの事業について説明を加えた。

その後、愛知県印刷工業組合顧問の塚本久氏（愛知県会議員）の乾杯の発声で新年を寿ぐ祝宴がスタートした。

※滝澤会長の「全印工連のデジタルトランスフォーメーション」については次号で紹介の予定。

四六半裁

OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評！オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

ISO 9001-14001認証取得
生産技術本部

【愛知労働局からのお知らせ】

■ 職場における労働衛生基準の見直し

～照度、便所、救急用具等に関わる改正～

■ 情報機器作業における労働衛生管理

～情報機器作業を行なう労働者の健康を守る～

愛知労働局労働基準部健康課より、「事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則」と「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」の2つの分野について、一部改正が行なわれたことに伴い、組合員への周知を図る旨の通達がありましたのでお知らせします。

■ 事務所衛生基準規則

及び労働安全衛生規則

事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令は、令和3年12月1日に公布され、職場における一般的な労働衛生基準が見直されました。事務所における照明の基準のほか、事務所その他の作業場における清潔、休養などに関する改正が行なわれています。

【省令の改正に伴って変更される点】

● 作業面の照度（※令和4年12月1日施行）

現在の知見に基づいて事務作業の区分が変更され、基準が引き上げられました。

● 便所の設備

新たに「独立個室型の便所」(※)が法令で位置付けられました。便所を男性用と女性用に区分して設置するという原則は維持されますが、独立個室型の便所を付加する場合の取り扱い、少人数の作業場における例外と留意事項が示されました。なお、従来の設置基準を満たしている便所を設けている場合は変更の必要はありません。

(※)男性用と女性用に区別しない四方を壁など囲まれた一戸の便房により構成される便所。

● 救急用具の内容

作業場に備えなければならない負傷者の手当てに必要な救急用具・材料について、具体的品目の規定がなくなりました。

【ポイント】

社会状況の変化に合わせ全ての働く人々を視野に対応。

作業場における清潔を保持するための措置、休養のための措置、良好な作業環境を確保するための措置などは、すべて働く人々にとって重要です。関係通達も含めた労働衛生基準の主な項目と見直しのポイントは以下ようになります。

職場における労働衛生基準見直しの主な項目とポイント（事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則の一部改正関係）

● 照度【事務所のみ】(R4. 12. 1施行)

○事務作業における作業面の照度の作業区分を2区分とし、基準を引き上げた。一般的な事務作業(300ルクス以上)、

付属的な事務作業(150ルクス以上)

○個々の事務作業に応じた適切な照度については、作業ごとにJIS Z9110などの基準を参照する。

● 便所(男性用と女性用に区分して設置する原則は維持)

○男性用と女性用の便所を設けた上で、独立個室型の便所(※)を設けたときには、男性用及び女性用の便所の設置基準に一定数反映させる。

○少人数(同時に就業する労働者が常時10人以内)の作業場において、建物の構造上の理由からやむを得ない場合などについては、独立個室型の便所で足りるものとした。既存の男女別便所の廃止などは不可。

○ 従来の基準を満たす便所を設けている場合は変更不要。

(※)独立個室型の便所：男性用と女性用を区別しない四方を壁などで囲まれた一戸の便房により構成される便所。

● シャワー設備など

シャワー設備など設ける場合は、誰もが安全に利用できるようにプライバシーにも配慮する。

● 休憩の設備

事業場の実情に応じ、広さや設備などを検討することが望ましい。

● 休養室・休養所

○随時利用が可能となるよう機能を確保する。

○入口、通路からの目隠し、出入り制限など、設置場所などに応じ、プライバシーと安全性の両者に配慮する。

● 作業環境測定(事務所のみ)

一酸化炭素、二酸化炭素濃度の測定機器は、検知管に限らず同等以上の性能を有する電子機器なども可であることを明示した。

● 救急用具の内容

○作業場に備えるべき救急用具・材料について、一律の備えなければならない具体的な品目についての規定を削除した。

○職場で発生することが想定される労働災害などに応じ、応急手当てに必要なものを産業医などの意見、衛生委員会などでの調査審議、検討などの結果などを踏まえ備え付けることとした。

■ 情報機器作業における

労働衛生管理のためのガイドライン

このガイドラインは、パソコンなど情報機器を使って作業を行なう労働者の健康を守るためのガイドラインです。情

VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン作業区分変更内容(概要)

| 旧 | | 作業環境管理 | 作業管理 | 健康管理 | |
|---|---|-----------------------------------|---|----------------------|---|
| A | 1日4時間以上 単純入力型、拘束型 | 照明・採光 グレアの防止 騒音の低減 点検・清掃 | 1日の作業時間が過度に長時間とならない 一連続作業時間が1時間を超えない 作業途中、1、2回の小休止 次の連続作業までに10～15分の作業休止 *作業区分Aは「設定」、作業区分Bは「指導」 *作業区分Aは、1日の連続作業時間への配慮 | VDT機器の選択 機器や姿勢の調整 | 健康診断 ・業務歴 ・既往歴 ・自覚症状の有無 ・眼科学的検査 ・筋骨格系検査 *作業区分Bは、筋骨格系検査については医師の判断による |
| B | 1日2時間～4時間 1日4時間以上 単純入力型、拘束型、 対話型、技術型、監視型、その他の型 | | | | |
| C | 1日2時間未満 1日4時間未満 単純入力型、拘束型 対話型、技術型、監視型、その他の型 | 必要に応じ上記に準じて行う | | 自覚症状を訴える者のみ上記の検査を行う | |

| 新 | | 作業環境管理 | 作業管理 | 健康管理 | |
|------------------|--|------------------------------------|--|----------|--|
| 拘束性のある作業 (注1) | 1日に4時間以上情報機器作業を行う者であって次のいずれか： ・常時ディスプレイを注視、または入力装置を操作 ・休憩や作業姿勢の変更に制約 | 照明・採光 情報機器の選択 騒音の低減 点検・清掃 | 1日の作業時間が過度に長時間とならない 一連続作業時間が1時間を超えない 作業途中、1、2回の小休止 次の連続作業までに10～15分の作業休止 *「拘束性のある作業」は、1日の連続作業時間への配慮 | 機器や姿勢の調整 | 健康診断 ・業務歴 ・既往歴 ・自覚症状の有無 ・眼科学的検査 ・筋骨格系検査 |
| それ以外 (注2) | 上記以外の情報機器作業対象者 | | | | |

注1:作業時間または作業内容に相当程度拘束性があると考えられるもの(全ての者が検診対象)

注2:上記以外のもの(自覚症状を訴える者のみ検診対象)

報機器作業による労働者の心身の負担を軽くし、支障なく働けるようにするため、事業者が講ずべき措置をまとめています。

今回、改正されたのは照度の取り扱いで、「ディスプレイ画面上における照度は500ルクス以下300ルクス以上を目安とし作業しやすい照度とする」となった。

【ガイドラインの枠組み】

○作業環境管理

情報機器作業を行なう環境の整備方法について説明しています。(例:ディスプレイの明るさ、情報機器や机・椅子の選び方)

○作業管理

情報機器作業の方法について説明しています。(例:1日の作業時間、休憩の取り方、望ましい姿勢)

○健康管理

情報機器作業者の健康を守るための措置について説明しています。(例:健康診断、職場体操)

○労働衛生教育

上記の対策の目的や方法について、作業区や管理者に理解してもらうための教育について説明しています。

【ポイント】

近年の情報機器作業の多様化や技術革新にも対応。

作業区分を見直し、タブレットやスマートフォンに関する事項を盛り込んでいます。作業区分に応じた対策については別項の表を参照してください。

※ ※ ※

「事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則」及び「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」などの詳細は、厚生労働省ホームページから検索ができます。

<https://www.mhlw.go.jp/>

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひるがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

www.toyoink.co.jp

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F

Tel:052-218-7460

印刷業経営動向実態調査

●1人当たり売上高2年ぶり減少●営業戦略「新規顧客の開拓」重視

全日本印刷工業組合連合会は、毎年実施している「印刷業経営動向実態調査」の令和2年度調査をまとめ、この程、その結果を公表した。本調査は、中小印刷業の経営動向を的確に把握するため実施しており、今回は、令和2年から令和3年3月にかけて全組合員を対象にインターネットで行ない、3,980社のうち336社（有効回答232社）から回答を得て集計

「令和2年度経営動向実態調査」

●収益性：収益性をみると1人当たりの売上高は2年ぶりの減少で17,630千円（前年比3.7%減）。営業利益率は史上最低水準になり、経常利益は3年連続で低下した。売上高の減少と過去高比率の低下が相まって収益性が悪化した。製品別の売上高構成比をみると、シェアは商業印刷、事務用印刷、出版印刷、包装印刷の順に多く、この上位4製品で売上高の88.9%を占める。包装印刷は長期的な低下傾向の一方、事務用印刷が上昇傾向になっている。商業印刷が横ばい、出版印刷は低下傾向が下げ止まらない。受注先は一般民間企業の割合が4年ぶりに減った。構成比をみると、その他（民需）、印刷業、国・自治体（官公需）の順。印刷機種別の売上高構成比は、デジタル印刷機が史上最高を更新する反面、オフセット輪転機が史上最少を更新するなど、印刷方式が徐々に変化していることが分かる。

□製品別売上高構成比

商業印刷：シェア44.6%（11年連続42～45%台で推移）

事務用印刷：シェア23.7%（10年で最高の23%台に上昇）

出版印刷：シェア13.9%（昨年の13.1%に反発）

包装印刷：シェア6.7%（史上最少の水準に低下）

●安全性：安全性では、自己資本比率が40%超で十分な水準だが2年連続で低下した。流動比率は長期的な上昇傾向が続いて短期債務への支払い能力は高まっている。安全余裕度は短期的には上下動しながら長期的には低落傾向にあって、財務構造の長期的な安全性の確保と収支構造の短期的な改善が課題である。

●生産性：生産性をみると、1人当たり売上高は2年ぶりに17,000千円台に低下、2年ぶりに18,000千円台を割り込んだ。1人当たりの加工高は8,700千円台で平成26年以来7年ぶりに増加。1人当たり機械装置額は1,600千円台で5年ぶりに下げ止まった。1人当たり人件費は4,800千円台で3年ぶりに減少したが、長期的には増加傾向で収益性の重しになりつつある。人的資源をみると、人員配置の重点が管理部門から生産部門にシフトする傾向が再開し、管理部門が史上最少を記録した。そして、従来からの長期的なポストプレスの増加

された。アンケート調査結果をみると、1人当たりの売上高は2年ぶりに減少、営業利益率は史上最低水準、経常利益は3年連続で低下、オフセット輪転機は10年で半分に以下に減少、デジタル印刷機が史上最高を更新などが明らかになった。この経営動向実態調査と同時に「経営戦略アンケート」調査も行なわれたのでその結果も紹介する。

傾向とプレスの減少が続いている。

□売上高／印刷機種別構成比

オフセット枚葉印刷機：シェア62.1%（前年度差△1.4）

オフセット輪転印刷機：シェア10.0%（前年度差△1.0）

デジタル印刷機：シェア12.9%（前年度差+1.6）

全印工連では調査結果から、「コロナ禍によって各種指標が悪化し始めたこと、まだコロナ禍の影響はすべて織り込まれてはいないことがうかがわれる。民需の減少、景気感応度の高い商業印刷比率の高さ、デジタル印刷機の存在感の高まり、ポストプレス人員の増加などの動きも読み取ることができ、これらの変化の背景を汲んで業績改善に結び付けていくスタンスが求められている」としている。

「経営戦略アンケート」

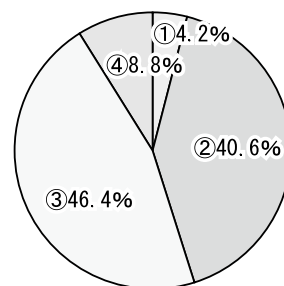
経営戦略アンケート結果は次のようになった。アンケートの設問は14項目、全体と経営利益率上位20社について尋ねている（一部抜粋）。

●過去の設備投資についての設問では、「何年かに一度、必要なモノが出たときに設備投資を行なっている」全体が48.1%、次いで、「毎年必要なモノに対して設備投資を行なっている」が41.9%となった。一方、上位では、「毎年必要なモノに対して設備投資を行なっている」が80.0%と、高い回答がある。

●今後の設備投資については、「必要性が出たときは積極的に設備投資を行なう」が全体46.4%、次いで、「今後も毎年

今後の設備投資について

全体



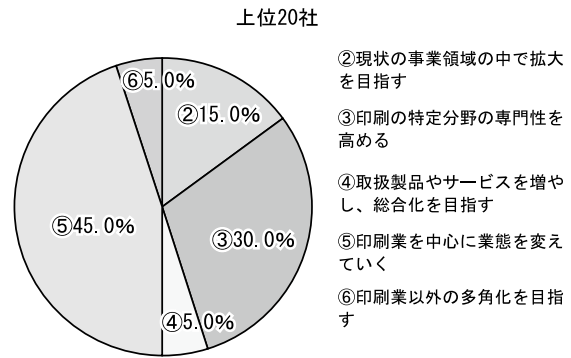
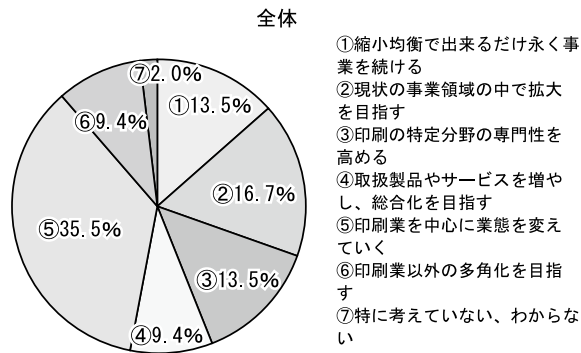
① 今後も毎年ある（計画している）比率で予算を取り、設備投資を行う

② 今後も毎年必要なモノに対し、設備投資を行う

③ 必要性が出た時は積極的に設備投資を行う

④ 設備投資をしない

今後の戦略における目指す方向性について



必要なモノ対し設備投資を行なう」が40.6%となった。上位では、「今後も毎年必要なモノに対し設備投資を行なう」が65%、「必要性が出たとき積極的に設備投資を行なう」は30.0%となった。

●近年(1～2年)の重点的な営業的取り組みについての設問では、全体では、「既存顧客の深堀営業で業績向上」が45.2%、次いで、「新規顧客の開拓で業績向上」が38.3%となった。一方、上位では、「新規顧客の開拓で業績向上」が44.4%、「既存顧客の深堀営業で業績向上」が41.7%となった。

●現在取り組んでいる、または、取り組みたい、組合が進めている企業価値を高める取り組みについては、全体では、「働き方改革の取り組み」16.9%、「見える化への取り組み」15.8%となったが、上位では、「見える化への取り組み」18.6%、「働き方改革への取り組み」15.1%となっている。

●今後の印刷業界はどのような分野が伸びるか、との問いについては、全体で見ると「Web制作」が13.2%、「販促品」10.5%、「動画制作」9.2%と続き、一方、上位では、「パッケージ・包装」が15.8%と高く、次いで、「Web制作」、「動画制作」が共に13.2%、「アプリ、システム開発」、「イベント企画・運営」が共に7.9%と続く。ちなみに全体では「書籍、記念誌、広報・PR誌」、「パッケージ、包装」、「名刺、伝票、封筒」、「イベント企画、運営」などが高い順になっている。

●今後の戦略における目指す方向については、全体では、「印刷業を中心に業態を変えていく」35.5%、「現状の事業領域の中で拡大を目指す」16.7%、そして、「印刷の特定分野の専門性を高める」と「縮小均衡でできるだけ長く事業を続ける」が共に13.5%となった。一方、上位では、「印刷業を中心に業態を変えていく」が45%、「印刷の特定分野の専門性を高

める」30.0%となっている。

●今後の重点的な営業的取り組みについて尋ねている。全体では41.5%が「新規顧客の開拓で業績向上」を挙げている。これは上位でも同様で55%ある。次いで多かったのは、「既存顧客の深堀営業で業績向上」が26.6%、上位でも20%ある。また、「印刷以外の分野で業績向上」は全体で17%、上位では20%となった。

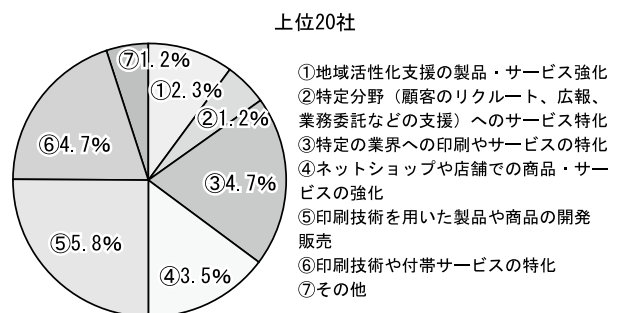
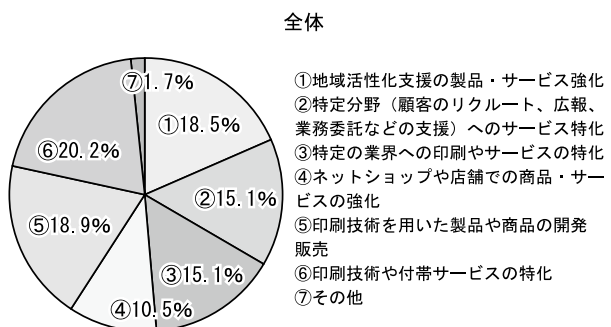
●今後、成長するために必要なモノについての設問で、高い専門性を持った社員では、全体では「マーケティング」が36.3%、上位が34.2%でトップ。また、最新鋭の設備では、全体では「印刷業界でのその他の分野」が24.2%、上位が23.3%となった。上位では、「プレス」、「ポストプレス」も同率で挙がっている。

●今後、成長するために取り組む顧客へのソリューション(市場や顧客の課題解決)はどの方向か、との設問では、「印刷技術や付帯サービスの特長」を挙げ20.2%、上位では「印刷技術を用いた製品や商品の開発販売」を挙げ5.8%となった。

●組合からどのような情報が必要かでは、「補助金(国、自治体など)に関わる情報」が、全体では47.2%、上位では15.3%となった。次いで多かったのは、「業界の動向」全体が43.0%、上位は22.0%。「社員教育に関する情報」全体が33.5%、上位が15.3%あった。また、「働き方改革に関する情報」、「メーカーの設備開発動向」なども必要な情報として挙げられている。

※参考資料:全印工連/日本の印刷No692「印刷業経営動向実態調査」結果概要/ <http://www.aj-pia.or.jp/toukei/>

今後、成長するために取り組む顧客へのソリューション(市場や顧客の問題解決)について



「はばたく中小企業・小規模事業者300社」選定

生産性向上・需要獲得・人材育成の3分野

愛知からプリントス／エムアイシーグループ
アサプリホールディングスの3社



経済産業省／中小企業庁は、革新的な製品・サービス開発、地域経済の活性化、多様な人材活用の観点から、優れた取り組みを行なっている中小企業、小規模事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として、また、商店街を「はばたく商店街30選」として選定した。

選定にあたって、「日本経済の大半を担う中小企業・小規模事業者や商店街は、地域経済と雇用を支えていることに加え、我が国の国際競争力と経済活力の源泉である。一方で、中小企業・小規模事業者や商店街の多くは、少子高齢化を背景にした人手不足などの問題が深刻化しており、加えた、インボイス制度や『働き方改革』への対応も喫緊の課題となっている。こうした課題に対応するため、中小企業・小規模事業者は、「生産性向上」、「需要獲得」、「人材育成」の3つの分野で、商店街は、「自治体・地域連携」、「人材・担い手」、「生産性向上」、「観光（域外需要）」の4つの分野で、優れた取り組みを行なう企業・商店街について選定した」としている。

そして、「今回選定された300の事業者、30の商店街の取り組み事例の情報発信を通じて、さらに多くの中小企業・小規模事業者・商店街において、革新的な製品開発、サービス創造、地域経済の活性化、国際競争力の強化への取り組みなどが加速されることを期待している」と述べている。

選定された印刷関連企業から、プリントス㈱「需要獲得」、㈱エムアイシーグループ「人材育成」、㈱アサプリホールディングス「人材育成」の3社を紹介する。

■プリントス(株) (愛知県一宮市)

管理の難しい樹脂製銘板の一貫生産に強み
さらに一般消費者向けへとサービスを拡大し
差別化

日常生活で目にする公共交通機関の券売機や病院の無人精算機の表示パネルなどに使われる樹脂製銘板を、設計から印刷、加工まで一貫して生産する特殊印刷メーカー。通常の印刷メーカーが避ける個人クリエイターや消費者を顧客とするサービスを展開し需要拡大を図る。2019年には納期・品質管理を徹底するために新工場を竣工。工程の自動化による生産量の拡大、クリーンな生産現場など従業員が働きやすい環境を実現し、拡大する需要に対応する体制を整えている。

所在地:愛知県一宮市佐千原垣崎61
TEL / FAX:0586-52-5077 / 0586-52-5088
URL <https://www.printos.co.jp>
代表者:代表取締役社長 堺 貴弘
設立1977年、資本金1,000万円、従業員数28人

○通常の印刷メーカーは行わない「ものづくり」と「サービス」で需要を獲得

通常、異物を嫌う印刷メーカーが樹脂加工を自社で行なう事は少ない。環境管理や現場の5S管理の徹底が大きな企業価値となる。さらに2013年からBtoBだけでなく、個人クリエイターの作品や一般消費者の記念品向け印刷サービス「マイカラーマート」を開始した。類似のサービスを行なう他社では、敬遠する少量のオーダーや破損・不具合のクレームが懸

240線から340線、FMスクリーンの
高画質高精細印刷を標準稼働中!!
価格は175線と同額

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

 大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料



〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

念される利用者の持ち込み品にもあえて対応する。通常の印刷メーカーが避けるサービスに取り組むことで需要獲得を実現した。

○新分野の顧客ニーズを直接聞き取り製品・サービス開発に繋げる

交通インフラ以外の他分野のユーザー開拓に取り組み、既存分野と異なる機械・機器メーカーが出展する展示会に印刷メーカーとして出展したことで、病院設備や医療機器向けの需要を獲得し、新たな事業の柱へと成長させた。新たな分野の顧客要望をヒントに、2010年には大手ECサイトを活用して後づけできる点字シートを商品化した。その後も視覚障害者のニーズを直接聞き、カラー点字を商品化するなど、同社の製品を通じてコミュニケーションストレスのない地域社会づくりにも貢献している。

○ウィズコロナを見据えて新技術を実用化

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ウィズコロナへの対応にいち早く取り組んだ。印刷用の透明インキに抗菌剤を混ぜ合わせて印刷することで、抗菌効果を施す技術開発を行ない、JISで定められた抗菌性試験により効果を実証・測定することができた。これを受けて2020年10月から抗菌スペースを視覚化した「抗菌印刷」や「抗菌点字」の販売を開始、多くの人々の新たな日常を支える製品・サービスを提供している。

■(株)エムアイシーグループ (愛知県西尾市)

創業以来培った高度な印刷技術と最新の情報技術 印刷情報産業を通じて地域・社会に貢献

同社は、創業115年になる県内屈指の歴史ある総合印刷会社である。主としてパンフレットやクリアファイルなどの印刷業を営んでいる。近年では、長年培ってきた高い技術力と企画力を活かして、ウェブ事業やイベント事業など多角化を図っている。西尾市観光協会と連携し、観光パンフレットや観光ホームページの作成に携わるとともに、地域情報誌「みどり」の企画・発行を約27年間継続的に行なうなど、三河地域の情報を発信し続けてきた。2020年にこれらの取組が評価され「地域未来牽引企業」に追加選定されている。

セーフティネット保証5号 対象業種を指定

経済産業省は、中小企業を対象とする「セーフティネット保証5号」の対象業種を発表した。

「オフセット印刷業(紙に対するもの)」、「オフセット印刷以外の印刷業(紙に対するもの)」、「紙以外の印刷業」、「製版業」、「製本業」、「印刷物加工業」、「印刷関連サービス業」、「印刷インキ製造業」、「印刷・製本・紙工機械製造業」が対象となっている。

指定期間は令和4年1月1日～3月31日。

【概要】

「セーフティネット保証5号」では、最近3か月間の売上高が前年同月比で5%以上減少している場合、信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で80%補償を行なう。別枠保証限度額は2億8,000万円。売上高などの減少については市区町村の認定が必要となる。

所在地:愛知県西尾市道光寺町東縄65

TEL / FAX:0563-56-5111 / 0563-56-5166

URL <https://www.micg.co.jp/>

代表者:代表取締役社長三浦 康太郎

設立1905年、資本金4,950万円、従業員数106人

○創業以来の印刷技術の継承と、強みを活かした事業の多角化

同社はUV特殊印刷により、クリアファイル素材やポリカーボネートへの印刷、3D印刷など紙以外への印刷も可能。擬似エンボス印刷という技術を用いたカタログ、会社案内、クリアファイル等への印刷にも注力しており、全国的にも優位性を持つ。近年は、長年培ってきた高い技術力、企画力、デザイン力や多くの協力会社との関係性を活かし、ウェブ事業、周年支援事業、BPO支援事業、イベント事業など事業を多角化。印刷関連事業全般を請負うことで、持続的な収益につながるビジネスモデルを構築している。

○社員や地元企業を巻き込んだ、観光関連事業への取組と

創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。.....

**デザイン~印刷まで
トータルサポート**

お気軽にお問合せ下さい。

..... カラー印刷全般

株式会社 プロスペック

〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117(代表)
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp <https://www.ps-prospec.co.jp/>

「紙の匠」
meikami

MEIKAMI
メイカミ

〒461-0018名古屋市中村区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418

地域貢献

同社は、西尾市や近隣市町村から9割を採用するなど、地元、三河地域の多様な人材を積極的に採用している。三河地域の情報の収集・集積を図ることで、地域の観光支援に活用。地域内の観光需要の掘り起しとともに、愛知県内の他地域や全国からの観光客の誘致に積極的に取り組んでいる。また、「ワンポイント布マスク」や「紙製の使い捨てマスクケース」など、社員からのアイデア公募で生まれた商品や、地元企業・協力企業とのコラボ商品を開発。新型コロナウイルスの影響を乗り越えてV字回復を目指している。

○「MICユニバーシティ」と「教育向上委員会」による継続的な社員の能力開発

2018年より社内勉強会「MICユニバーシティ」を年4回開催。講師も社員が務め、会社のこと、デザインのこと、設備のことなどを改めて勉強する機会を設けている。従業員の能力向上とともに、自由参加にもかかわらず毎回全社員の7割が参加するなど他部署との交流の機会にもなっている。また、2019年から教育体制の再構築のため「教育向上委員会」を立ちあげた。新入社員用に作業マニュアルを作成するとともに、メンター制度を導入。新入社員を見守り・定着させる体制を構築し、継続的な成長に繋がる取組を行なっている。

■(株)アサプリホールディングス(三重県桑名市)

11社のグループ会社を有し情報産業分野で多角化業務改善や人材育成に積極的にITを導入

同社を持株会社に計11社でグループを形成。チラシ、パンフレット等の印刷から、企画、デザイン、動画・ウェブ制作等情報産業分野で多角化している。グループ連結売上高は50億円超で、300名を超える雇用を創出している。徹底したIT化で業務工程の「見える化」を実現。工程管理や従業員の意識改革・人材育成につなげている。これまで9社をM&Aで取得。「見える化」による内部体制整備と、M&Aによる業容拡大をバランス良く展開している。

所在地: 三重県桑名市大字安永926
TEL / FAX: 0594-23-5519 / 0594-23-5855
URL <https://www.asapri-hd.jp/index.html>
代表者: 代表取締役社長松岡 祐司
設立1978年、資本金9,550万円、従業員数22人

○顧客の広告・販促効果を考え、高品質、短納期、コスト引下げを提案

「広告を考える印刷屋」をスローガンに、広告・販促効果を考え提案。最新鋭設備で企画・デザインから印刷・動画・ウェブ・SNS広告まで一貫体制を整備。見積り～請求まで行なう独自開発システムで各工程の「見える化」で生産性向上を図り、ワンランク上の広告・販促物を短納期かつリーズナブル価格で提供している。ウェブを通じて校正や発注ができる独自システムを導入し、印刷の価格面だけでなく、顧客の利便性向上(合理化)を通じて付加価値を上げる取組も行なっている。

○グループ会社の社長は生え抜き社員から登用しモチベーション向上につなげる

グループには、印刷、広告制作、ウェブ・動画制作等の会社があるが、各社の社長には主にアサプリで育った生え抜き社員を登用している。高いパフォーマンスを発揮すれば、社長にまで登りつめることができる仕組みを示すことで、社員のモチベーションアップに繋がっている。主婦、学生、外国人、シルバーの方等、多様な人材を採用している。社長子息3人が入社しており、先行きの事業継続に備え、経営管理(東京)、動画制作(東京)、営業・経営企画(大阪)と、それぞれ得意分野で活躍させ経験を積ませている。

○コロナ禍対応として内部体制の見直しと次の戦略に向けた社内教育を推進

グループ全体では設備稼働の最適化を図るため、製造部門の統合(新会社で集約)を準備中である。全社員がウェブ事業に関する知識・スキルを習得すべくeラーニングを受講し、次の戦略に向けた全社あげての社内教育を奨めている。独自開発した基幹情報システムによって全社員が業務情報をタイムリーに把握している。個人へ仕事を集中させない、自分で抱え込まないよう、チーム制を導入している。効率的なフレックス活用と休業を促進している。

※「はばたく中小企業・小規模事業者300社」、「はばたく商店街30選」2021版では、選定された各社の取り組み事例を冊子としてまとめ公表している。また、中小企業庁ホームページより閲覧ができる。

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

| | |
|-----------------|------------------------|
| グラフィックデザイン | Graphic design |
| ウェブデザイン | Web design |
| セールスプロモーションデザイン | Sales promotion design |
| エディトリアルデザイン | Editorial design |
| アドバイジングデザイン | Advertising design |
| オンデマンドプリンティング | On-demand printing |

adWise

株式会社 アドワイス

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-15-15 ダイアパレス丸の内201

TEL 052-212-5182 FAX 052-212-5183 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz <http://www.ad-wise.biz/>

■全印工連

CSR認定120社、新規ワンスター認定は5社

新日本印刷／豊橋合同印刷更新

全日本印刷工業組合連合会は、12月13日開催の第35回CSR認定委員会で、ワンスター新規5社、ワンスター更新7社、ツースター更新1社、スリースター更新2社を認定した。これにより2022年1月現在のCSR認定企業はスリースター認定9社、ツースター認定12社、ワンスター認定108社の計129社となった。

【ワンスター新規認定】

(株)ニシキプリント(広島県広島市)、(株)鹿児島新生社印刷(鹿児島県鹿児島市)、ダイヤモンド秀巧社印刷(福岡県福岡市)、トキワ印刷(大阪府東大阪市)、(株)ニッポー(富山県富山市)。

【スリースター(更新)】

新日本印刷(株)(愛知県名古屋)、ユニバーサルポストグループ(広島県広島市)

【ツースター(更新)】

愛和印刷(株)(愛媛県今治市)

【ワンスター(更新)】

伊藤印刷(株)(三重県津市)、豊橋合同印刷(株)(愛知県豊橋市)、創文印刷工業(株)(東京都荒川区)、音羽印刷(株)(東京都文京区)、(株)ナカニワ印刷(東京都江東区)、(株)九州クラフト工業(熊本県熊本市)、(株)ホクラミ(北海道札幌市)

□CSR認定取得のお奨め

前項で紹介の全印工連が行なった「経営戦略アンケート調査」のなかで、今後取得したい認証は何か？との質問があり、CSR認定と回答した企業が33.9%を示した。これは、SDGsへの関心と併せて、CSR認証取得で広く社会にアピールしたい、との積極的な姿勢の結果と見受けられる。

CSR認定の申し込みは、全印工連からCSR認定応募申請書を取り寄せ、必要事項を記入してFAXで申し込むことから始まる。応募申請書の到着次第申請書類が送られてくるので、次の①～⑤の申請書類を提出する。①CSR取り組み項目チェックリスト、②法令遵守宣誓書(所定様式)、③納税証明書(税務署交付した証明書)、④過去3年の行政処分がないことの宣誓書(所定様式)、⑤添付書類(CSR取り組み項目チェックリストで選択した項目を証明する書類)。

申請書類①～⑤の提出後は、審査機関のCSR&サステナビリティセンターにおいて書類審査が行なわれ、外部の有識者で構成する全印工連CSR認定委員会において審査を行ない、認定が決められる。認定が決まれば2年ごとに更新審査があり、上位認定であるツースターの認定もできる。さらに、ツースター認定取得後は、最上位認定のスリースター認定の取得もできる。

その他、ワンスター／ツースター／スリースター認定の詳細、各取得の費用など詳しくは、全印工連CSRで検索。

ちなみに、愛印工組では以下の企業が取得している。

○スリースター認定:新日本印刷(株)

○ツースター認定:(株)マルワ

○ワンスター認定:木野瀬印刷(株)、半田中央印刷(株)、豊橋合同印刷(株)、(株)愛知印刷工業、(株)荒川印刷、大信印刷(株)

■日印産連

GP認定436事業所

資機材登録は746製品に

日本印刷産業連合会は、12月16日開催の第65回グリーンプリンティング(GP)認定委員会で、新規工場4工場と更新61工場、併せて65工場を認定した。この結果、12月現在GP認定工場の事業所数は全436事業所となった。

コロナ禍で現地審査が厳しい状態にあったが、現在、現地調査を進めることができる状況になり、現地審査を延期していた工場も含め更新工場が多い状況となった。さらに、SDGsの実現に向けGP制度がさらに浸透しつつあり、新規認定の問い合わせが増えている状況にある。


また、同認定委員会において、GP資機材の認定を実施し、新たに2社の参加と、4社21製品(洗浄剤6製品、エッチ液13製品、製本用接着剤1製品、ドライトナー型デジタル印刷機1製品)を認定した。これで、認定登録製品は746製品となった。

【新規認定工場】

新規認定工場の認定日は2021年12月16日、認定有効期限は2024年12月31日。

○オフセット印刷部門

新村印刷(株)狭山工場(埼玉県狭山市)、能登印刷(株)白山工場(石川県白山市)、大享印刷(株)多気工場(三重県多気市)、(株)あすなろ印刷出水工場(鹿児島県出水市)



heart 人から人へ心を伝える ハート紙製品

グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社
URL: www.heart-group.co.jp

75%
1033002704 FSC® C016885
ISO 14001
ISO 9001
ハート印刷(株)
取得
FMI 75877

中部経済産業局より緊急の案内

令和3年度補正予算「事業復活支援金」

コロナの影響で売上げが減少している事業所へ、中部経済産業局より令和3年度補正予算による「事業復活支援金」の案内がありましたので紹介します。

事業復活支援金は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業主に対して、事業規模に応じて給付金が支給される制度になります。

●対象者：新型コロナの影響で2021年11月～2022年3月のいずれかの月

の売上げ高が2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月の売上げ高と比較して50%未満減少した事業主（中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主）。

●給付額：法人は上限最大250万円、個人事業主は上限最大50万円を給付。給付額の上限額及び算出方式は表参照。

詳細は、事業復活支援事務局HP
<https://jigyoku-fukkatsu-go.jp/>

上限額と算出式

| 売上高減少率 | 個人事業者 | 法人 | | |
|----------|-------|-----------------|--------------------|----------------|
| | | 年間売上高※ 1億円以下 | 年間売上高※ 1億円超～5億円 | 年間売上高※ 5億円超 |
| ▲50%以上 | 50万円 | 100万円 | 150万円 | 250万円 |
| ▲30%～50% | 30万円 | 60万円 | 90万円 | 150万円 |

※ 基準月（2018年11月～2021年3月の間で売上高の比較に用いた月）を含む事業年度の年間売上高

$$\text{給付額} = (\text{基準期間}^{\ast 1} \text{の売上高}) - (\text{対象月}^{\ast 2} \text{の売上高}) \times 5$$

※1 「2018年11月～2019年3月」「2019年11月～2020年3月」「2020年11月～2021年3月」のいずれかの期間（対象月を判断するため、売上高の比較に用いた月（基準月）を含む期間であること）

※2 2021年11月～2022年3月のいずれかの月（基準期間の同月と比較して売上が50%以上又は30%以上50%未満減少した月であること）

全印工連:第15回MUDコンペ

経済産業大臣賞に杉山メディアサポートと静岡文化芸術大学

全日本印刷工業組合連合会（滝澤光正会長）は、「第15回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」の審査結果を公表した。今回の応募総数は237点（一般47点、学生190点）。厳正な審査の結

果、経済産業大臣賞には、一般の部：杉山メディアサポート(株)、学生の部：静岡文化芸術大学が受賞した。その他、優秀賞、佳作など19作品が選出された。[企業名(都道府県)・作品名・出品者]

【経済産業大臣賞】

[一般の部]

●杉山メディアサポート(株)(東京都)「レジコミュニケーションカード」山崎翔太・綾部晶

[学生の部]

●静岡文化芸術大学(静岡県)「あのひと手帖」高橋美羽



経済産業大臣賞の「レジコミュニケーションカード」(杉山メディアサポート)

【優秀賞】

[一般の部]

●(株)武揚堂(東京都)「まちなか防災アクション」宇佐美萌々香・内村祐哉 ●(株)新聞印刷(大阪府)「大相撲トランプ」真柴田拓哉・土屋武義・石井貴司・水野祥徳・草川祐二・池田実佳 ●松本印刷(静岡県)「ぼくはひだりきぎ」橋本良太・関田奈保子

[学生の部]

●専門学校浜松デザインカレッジ(静岡県)「UNO WHITE」岩崎有真 ●専門学校浜松デザインカレッジ(静岡県)「野菜の鮮度が一目でわかるマグネット」山下理恵 ●京都女子大学(京都府)「一日一話日めくりカレンダー」石田姫奈子

編集だより

■新型コロナウイルス感染症の勢いが増すばかりで、印刷及び関連業界の新年祝賀の行事が今年も相次いで中止となっています。ただ、愛知県、岐阜県、三重県の各工組の祝賀会は万全な感染症対策が施され開催されました。愛印工組も出席者の人数制限はありましたが開催することができ、本誌のトップを飾ることができました。ポストコロナへの対応が気になりますが、早くコロナが収束し、春を迎えたいものです。



あいの印刷

No.603

令和4年2月10日発行

発行人 鳥原久資
 編集 組織・共済委員会
 発行所 愛知県印刷工業組合
 〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
 メディアージュ愛知1階
 TEL (052) 962-5771
 FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
 ◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

すまっぽん アプリ風HP

一日10円
月額300円で
利用できます!



詳しくはこちらから
すまっぽん

新登場!

LPビルダー 新規入会者募集中

BRIDGE

株式会社 販促ファクトリー



多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 アクアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <http://www.axuas.jp>

キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing
Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用高材

Printing
Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing
Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing
System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)



株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

本社 / 名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 /
仙台支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所



ロマンと効率 輝く企業へ

KOBUNDO

PRODUCTS

フィニッシングソリューション KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

KBD MOLLシステムは、製袋機、グルーシステム、紙折機の機能を統合して、パッケージ等の型紙を自動で製造するユニットシステムです。



デジタル制御高精度シートカッター KBD Value Sheeter I400

KBDバリューシーター1400は、最新の先端技術を採用し、高速で安定した断裁を可能にするシートカッターです。



オートフィードダイカッター

KBD Diginukky500

デジタル印刷のフィニッシングに
最適な新設計のダイカッター登場!



オフィスのPOD横に設置が可能です。100V電源で稼働できるので設置場所を選びません。イージーオペレーションでオフィス内での運用が可能になります。



印刷機材の総合商社

株式会社 光文堂

本社 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄